旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
２０２２年３月６日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙　　祷		一　同
讃　　美※	聖歌653「イエスはわが命」	一　同
主の祈り※	（聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください）	
讃　　美	聖歌478「世人の咎のために」	一　同
教会学校	絵本「ダビデさんの羊」	牧　師
讃　　美	聖歌688「悩み多き憂き世を」	一　同
聖書朗読	黙示録21:9-14	
奨　　励	黙示録の福音(第29回)	牧　師
主　　題	「光の中へ」	
讃　　美	聖歌748「まもなく彼方の」	一　同
献　　金	献金と感謝の祈り	
聖　　餐		
頌　　栄※	聖歌376「父、御子、御霊の」	一　同
祝　　祷※		牧　師
来週の箇所	**黙示録第22章**	

※印のところでは御起立下さい。

☆　はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申しあげます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
☆　私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
☆　献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです（２ｺﾘﾝﾄ9:7）。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
☆　キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
☆　第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
☆　二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会　ニュース

《今週の歩み》
３／６（日）聖日礼拝
／７（月）13-15:牧師祈り会(上杉)
／８（火）
／９（水）13-16:OBSｸﾗｽ
／10（木）10:00祈り会
／11（金）
／12（土）13-16子供ｵｰﾌﾟﾝﾊｳｽ

《祈りの課題》
①コロナ禍の速やかな終息のために
②礼拝に来れなかった人々のために
③教会学校の子供たちが救われますように

《マサダ要塞跡》

良書ハイライト

「否　認」

キュブラー・ロス著「死ぬ瞬間」(読売新聞社,1998)p.61より

私達は死に瀕している患者二百人以上にインタビューをしたが、ほとんどの人は不治の病であることを知った時、始めは「いや、私の事じゃない。そんな事があるはずがない」と思ったという。誰にでも最初に訪れるのがこの否認である。…

患者は診断を知らされると不安になってそれを否認する。否認がとくに顕著に見られるのは、その患者のことをあまりよく知らない人や、受け入れの準備が患者にできているのかどうか考えもせず早く「片づけよう」と思っている人から、告げられるべき時がきていないのに突然知らされた患者の場合である。少なくとも部分的な否認はほとんどすべての患者に見られ、病気の初期や告知のあとだけでなくその後も時折見られる。「われわれは、太陽をずっと見続けていることができないのと同じように、ずっと死を直視していることもできない」。そう言ったのは誰だったろうか。患者は、しばらくは自分自身の死の可能性について考え込むが、その後は生き続けていくために、そういった考えを捨て去る。

私がこのことを強調したいのは、否認は不快で苦痛に満ちた状況に対する健康的な対処法だからだ。中にはこのような状況のもとで長期にわたって生きていかなくてはならない患者もいる。予期しないショッキングな知らせを受けたときにその衝撃をやわらげるものとして、この否認という機能があるのだ。患者は否認によって自分を落ち着かせ、時間が経つにつれ、別のもっと穏やかな自己防衛法を使うようになる。しかしながら、否認したからといって、あとになってその患者が自分に襲いかかろうとしている死について誰かと落ち着いて話す機会が訪れたときに、気がすすまないとか、ましてや幸せな気分や安心した気分になれないとかというわけではない。そういった会話は(聞き手ではなく!)患者が死を直視する用意ができた時、その患者のためを思って行われるものであり、またそうでなくてはならない。